



2017-2018 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

## 東となみロータリークラブ会報

2017-2018 年度 No.11

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 FAX 0763-55-6147

[h.tonamirc@gmail.com](mailto:h.tonamirc@gmail.com)

2017-2018 年度 会長 河合耕一、幹事 長谷川吉美



ロータリー：  
変化をもたらす

(イアン H.S.ライズラリー会長)

## 例 会 記 録

### 第 1881 回例会

平成 29 年 11 月 29 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. ソング：四つのテスト



3. 会長の時間：先日、地区振興会で新潟柏崎へ。中越沖地震の災害復旧に携わった人の話を聞きに行きました。120 名程の地域で寄せ集めの所帯で、コミュニティ活動やサークルの集まりが良く行われていたところでした。震度 6 の地震後、いざとなったら、市の作成した防災マニュアルなど、紙に書いたものは一切役に立ちませんでした。結果的には、近所付き合いとか、普段からの情報交換がいざという時に役に立ちました。地震後、ボランティアが日本中から集まったが、采配する人がおらず、手伝おうとしたら、気の毒と断られた例も多く、ようやく 3 日過ぎ、地元の中心になる人物ができて、困っていることのアンケートを住民からとって、一晩でまとめるから、復旧活動がスムーズにいったそうです。日頃の活動が物をいうことを勉強してきました。

4. 幹事報告：①2017 年 12 月のロータリーレート：1

\$ = 112 円②隣クラブ例会変更は、事務局確認。



5. 委員会報告：①出席報告(中島委員長)22 名中 18 名出席(出席率 81.82%)②会員拡大増強委員会(齋藤美華子委員長)：先日、地区会員増強委員長会議に行ってきた。東京西 RC の鈴木隆志会員(日本カーゴエクスプレス社長)による、会員増強の必要性、5 年後の予測、ロータリークラブをリベラルアンケートという手法で、クロスマーケティングして、決して悪い市場ではない、質の高い市場であるという観点を示されました。



2016-2017 年度：1 人 100 \$ 達成賞、授与される

6. ニコニコBOX(SAA：本日 5 名)

河合会長：いよいよ 12 月。事故なく今年が終わりますように祈ります。

三谷会員：卓話になっていますが、スママセン。

**高瀬会員**：久しぶりに。欠席がちで申し訳ありません。結婚祝有難うございました。

**中島会員**：職場で来客の為、早退します。

**山本武夫会員**：今朝ビックリ(1件)。寒い日が続きます。裏山に雪が積もると手足がしびれます。今年もあと1年、皆様、お体ご自愛を！



### 会員卓話「ロータリー20年。」 三谷貴志夫会員

**三谷会員**：私は、かの有名な女優、岸恵子と誕生日が同じ(S7年8月11日)です(日経新聞提示)。有名人と誕生日が一緒なのは嬉しいものです。入会して20年、その間、病気をし、しゃべるのもだんだん都合悪くなってきました。2003-2004年度には、クラブ会長を務め、当時庄川13名、井波9名その他3名の25名の会員でした。北川ガバナー年度で、豪州の国際大会にも夫婦で、砺波RCや石川県の会長などと一緒に参加し、いい思い出です。最近、時々体調もすぐれず、過ごしていましたが、昨日の北日本新聞文芸欄の柳壇に、「パトカーの音にも慣れて戸を開けぬ」という川柳が、最高の「天」に選考され、驚き、嬉しく思いました。20年間、ロータリアンとしてやってきて、あと何年続けられるか、考えています。最近、同級生が、富山新聞に、1カ月に3回も投稿している事をしり、もう少しだけ頑張ろうと思いました。とりあえずは25年を目標に、宜しくお願いします。(本日は、友人に卓話を依頼していましたが、都合悪くなりました。)

### 報告「高岡市近郊8RC共同プロジェクトについて。」 山本武夫R財団委員長

**山本会員**：先月の理事会で、坂井エレクトはじめ理事の方から、「高岡市歯と口腔の健康づくりプロジェクト」について、もう少し詳しく説明してほしいと要請されましたので、三谷先生にお願いし、時間を頂きました。

浅田年度のIM後、次期会長の懇談会(2次会)があり、そこで、池田ガバナー補佐(会長エレクトでもあった)から、

2610地区から、多クラブ(5クラブ以上)の奉仕プロジェクトを推奨されているが、この第3分区で何かできないだろうか、という話が出され、上田次期ガバナー補佐が是非やりたいネ、と前向きな発言がありました。池田さんから、東となみRCが、10年以上続けている「いい歯の日キャンペーン」はどうかと、水を向けられ、今までの活動を簡単に報告し、庄川町や福野町でフッ化物洗口未実施の時に、普及キャンペーンをした例をあげて、現在高岡地区が、砺波や射水地区に遅れているので、啓発活動をしてはどうかと小生から提案しました。そこへ、高岡RCや高岡万葉RCの会長エレクトが「なぜ、高岡が…」と、この事業に取り組むよう、依頼されました。はじめは、保育園や小学校へ教科書や絵本を贈呈するを考えましたが、贈ってそのままでは効果がないかもしれないので、担当者に集まってもらい、講演会を開催するプランを提案しました。私の年度になり、各クラブに、上田ガバナー補佐から参加要請され、砺波RCを除く富山第3分区6RCが、2016-2017年度は、参加し事業が実施されました。(これが、河合会長年度の地区大会で、ガバナー賞を頂きました。)

初年度は、結局は保育園対象に講演会を開催するに留まり、次年度は、高岡市内の高岡西RC、高岡北RCが、この趣旨に賛同し、上田ガバナー補佐の薦めで、R財団地区補助金事業へ申請することになり、富山第3分区・第4分区の「高岡市近郊8RCクラブ共同プロジェクト」として、この8月30日、やはり小学校へ教科書を、保育園に絵本を贈呈し、講演会を実施しました。この事業の展開に、高岡市教育委員会が積極的に加わってもらえず、次年度への継続が必要とされました。

このため、今年度のプロジェクトの代表、村谷富山第3分区ガバナー補佐を中心に高岡市役所を訪問し次年度への協力要請も行い、また、富山第3分区・第4分区の他のクラブへも支援を要請し、富山県西部のRCでの次年度R地区補助金事業を目指すことに話が進んできています。

この小さな東となみRCの1活動が、他の多くのクラブを巻き込んで、広げていくことになったのは、当クラブの会員の皆様の温かいご支援のお陰です。子供たちの健康のために、さらなるご協力(クラブ負担金で)をお願い致します。

(会報担当) 長田(写真)、山本武夫 (HP)